



Adelaide Convention Centre
Leadership, Innovation, Sustainability



15th International Conference for Women Engineers and Scientists

The 15th International Conference of Women Engineers and Scientists (ICWES15) was held at the Adelaide Convention Centre, Adelaide, South Australia from 19-22 July 2011.

This was the first time such an international conference for women engineers and scientists was held in Australia. The Conference was a great success, attracting over 500 participants from 25 countries. Delegates attending the conference agreed that this was an inspiring event with a stimulating and informative technical program which was complemented by an equally exciting social program.



ICWES15会場
(アデレードコンベンションセンター)

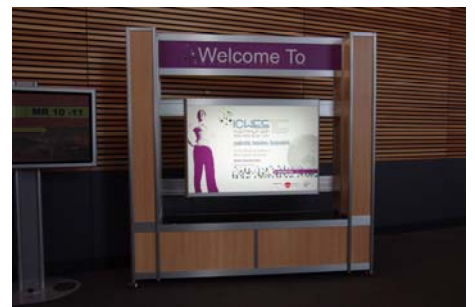
ICWES15参加総括

理事長 岩熊 まき

特定非営利活動法人女性技術士の会は、2011年7月19日から22日まで、Adelaide (Australia)にて開催された、第15回国際女性技術者・科学者会議 (The 15th International Conference for Women Engineers and Scientists (ICWES15)) に参加しました。

1999年第11回会議(千葉県幕張国際会議場)に運営委員会の一員として、はじめて参加し、その後、第12回会議第(2002年、Ottawa:Canada)、13回会議(2005年、Seoul:South Korea)、第14回(2008年、Lille:France)と続けて参加し、参加者は常に10名を超えています。第15回(Adelaide:Australia)は、日本技術士会と交流がある Engineers Australiaの National Committee for Women in Engineering がホスト組織となり開催され、日本からは、INWES-Japanの構成団体である女性技術士の会8名(+同伴者2名)、女性技術者フォーラム(JWEF)から3名が参加しました。

参加形態は、当初は、ポスターから、口頭、そして、今回はワークショップを主催するまでに成長してきました。振り返れば日本開催の国際女性技術者・科学者会議に手を挙げて以来、日本を代表する技術者としての矜持を持って、一人ひとりが、グローバル人材としての姿



エントランス



エントリーブース

を明確にしてきたといえます。今までの会議では、技術者・科学者会議といってもなかなか技術者の存在が見えず、官公庁・大学関係の研究者が中心の会議となっていました。15回は、技術者色が出ており、スポンサー企業のブースも働く女性技術者に焦点があたっているなど、違和感のない会議でした。

次回第16回は米国女性技術者協会（WES：Society of Women Engineers）がホスト組織となり、2014年10月Los Angelesで開催されます。ワークショップを継続して行なうなど、さらに国際的にも発信力を持った当会となり、一人ひとりが、国際社会で通用する技術者として成長する取り組みを行なってゆきたいと思えます。

◆会議概要

日時 2011年7月19日～22日
場所 オーストラリア・アデレード
アデレードコンベンションセンター
大会テーマ Leadership, Innovation, Sustainability
参加国数 25

◇特定非営利活動法人女性技術士の会

参加者 岩熊 まき
氷上 澄子
石田 佳子
木村 了
井本 郁子
山本 敬子
千木良 美由紀
鈴木 千賀

発表テーマ

ポスターセッション：我が国の女性技術士の近況(NPO)
女子学生（生徒）への科学技術支援
(INWES-JAPAN)
理工系女子のキャリア形成(WPETF)

ワークショップ：女性技術者の仕事事情

◇特定非営利活動法人女性技術士の会

ICWES15プロジェクトチーム

岩熊まき、氷上澄子、酒井一江、石田佳子、松村明子
綿貫知香、青木ゆかり、笹尾圭哉子、千木良美由紀
鈴木千賀、久保奈美、中野亜求了

注1) タイトル・英文はICWES15 ホームページから

注2) ポスターセッション：INWES-JAPAN は共同製作、WPETF はNPO 発表協力



ウエルカムパーティ会場
(南オーストラリア美術館)



ウエルカムパーティにて



ガラナイト会場
(コンベンションセンターのホール)



ガラナイトにて

今回のポスター発表は「我が国の女性技術士の近況」として技術士全体に占める女性技術士の割合が1%程度である現状と、その主要と考えられる理由を述べ、NPOが活動のひとつとして推進している女性技術者のロールモデル紹介の事例として、情報部門（青木ゆかり）、建設部門（平野英子）、応用理学部門（修習・藤井由美）、上下水道部門（木村弘子）の4名をピックアップした。

ポスターは、NPOの企画部会が中心になって作成、冒頭では、東日本大震災復旧支援に対するお礼のメッセージを入れた。ネイビーブルーの下地に日の丸の赤と白が映えていた。

ポスター発表会場は、コンベンションセンターの展示フロア。入り口側は、Engineers Australia、アデレード大学、クウェート女性技術者等各団体、協賛企業の展示コーナーがあり、ポスター会場はそれに続くエリアが用意されていた。NPOのスペースは、中央部分の比較的目立つところであった。プレゼン時間帯は初日と2日目は朝、昼、夕3回、最終日は朝、昼の2回の後15時撤収となっていた。各時間帯、参加者でNPO、INWES-Japan、男女共同参画委員会（公益社団法人日本技術士会）の説明を分担する計画で臨んだ。

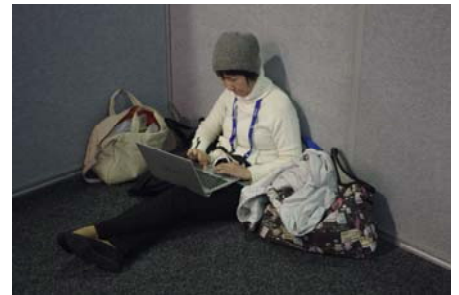
NPOのブースには、配布用としてのリーフレット、展示ポスターのA4カラーコピー、22日のワークショップの案内チラシを置き、ポスターに目を向けて下さった方達には、男性女性問わず、チラシを手渡し、ワークショップのPRに努めた。ブースへの訪問者は地元オーストラリアを始め、ニュージーランド、メキシコ、イギリス、アメリカ、インドネシア、インドなど幅広かった。

私が受けた質問で、最も多かったのは、「親は、自分の娘が科学技術分野へ進むのを望まない」との記載に対する「何故？」との疑問である。「女の子は家庭を守るもの、という風潮がある」との説明も質問者の納得は得られず、自分たちの間で勝手に論議し、「their culture」と結論づけている一団もあった。

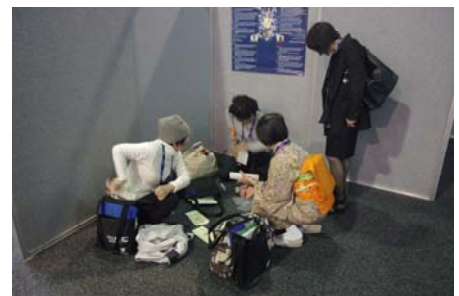
また、女性技術士が技術士全体の1%程度であることに対しては驚きがあった。女性技術者のロールモデルが少なく具体像が描けないことが原因のひとつと思われるので、私たちは、理工系の女子や、女性技術者の増加に繋がるような活動を展開している、との説明を行った。

このような場で、いつも思うのは日本人の真面目さ。事前アナウンス通りのサイズのポスターを用意し、決められた場所にきっちり貼ったのであるが、サイズ無視、隣へはみ出しているようがお構いなしの団体もいくつかあった。

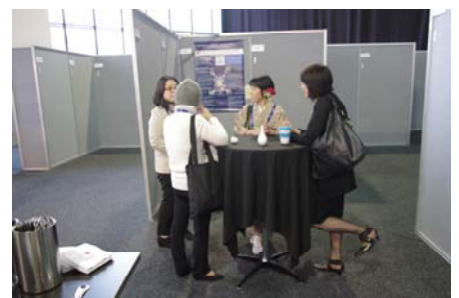
さて、最も盛況であったのはランチタイム。ポスター会場がランチ



パネリストのメールチェック



要員計画検討中



テーブル占拠中



お仕事中



ポスターの前で

会場であったため、11時30分を過ぎると食事カートが置かれ、おいしい臭いが漂い始める。参加者同士が皆お皿を抱えて、あちらこちらで会話を楽しんでいた。私たちも旺盛な食欲を示しながらも、初日はすぐ近くにテーブルがあったため、そこを占拠してシンポジウムの構成を話し合うためのパワーランチとなった（あまりにも独占していたためか翌日にはテーブルが撤去）。

なお、最終日、NPOのポスターには金色の星が2つ貼られた。女性2人が、ポスターを見ながら1つ、2つ、...星を貼っている。その場で確認しなかったもので、星の意味は分からずじまいになったのは残念だが、持ち帰ったポスターには星2つが輝いている。

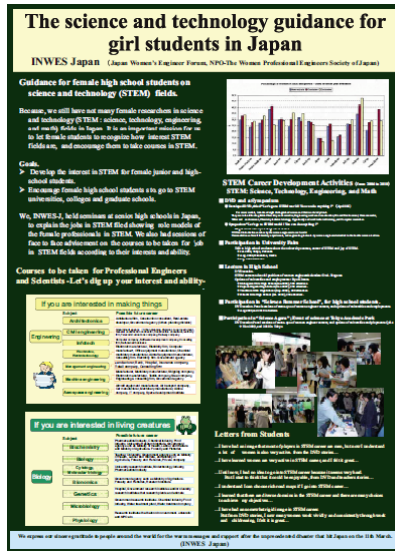
ポスター製作チーム

酒井一江、吉川サナエ、青木ゆかり、犬走朱見、藤井由美、宮地奈保子、土岐育子

ポスター2点



NPO



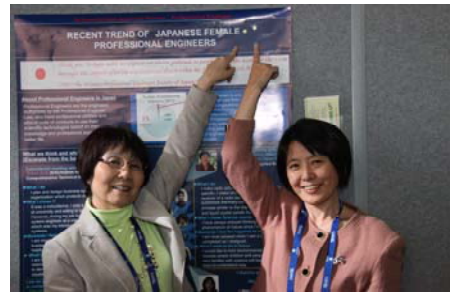
I NWES - JAPAN



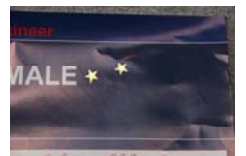
ランチタイム



オーストラリアブース



☆2つゲット



公益社団法人

日本技術士会